



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社中央製作所

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 篠田 政明

TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,827	—	△98	—	△93	—	△94	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △60百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△12.13	—
25年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年3月期より連結財務諸表を作成しており、平成25年3月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	4,366	—	1,511	—	34.6
25年3月期	4,356	—	1,572	—	36.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,511百万円 25年3月期 1,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	8.4	35	—	38	—	30	—	3.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	7,843,000 株	25年3月期	7,843,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	77,036 株	25年3月期	77,036 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	7,765,964 株	25年3月期2Q	7,767,864 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
5. 補足情報	10
(1) 生産実績	10
(2) 受注実績	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却へ向けた政府主導の大胆な金融政策により、円高の是正が進みました。それにより海外輸出への期待感が高まり、株価の好転も見られるなど景気は緩やかに回復しているものと思われまます。

一方、製造業の国内における設備投資に関しては、なお慎重な姿勢が見られ厳しい状況が続いております。その結果、受注高は2,506百万円と堅調に推移いたしましたが、売上高につきましては1,827百万円と厳しい結果となりました。損益につきましては、売上の厳しい状況を受け、営業損失98百万円、経常損失93百万円、四半期純損失94百万円の計上となりました。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行なっておりません。

以下主なセグメントの状況は、次のとおりであります。

(電源機器)

電源機器におきましては、継続して製品に対するコスト低減・短納期対応に重点を置き、生産・販売活動を行なっておりまました。汎用電源につきましては、独自の技術で省電力を実現し昨秋市場に投入いたしました小型直流インバータ電源(商品名“パワーマスター”)の拡販に努めてまいりました。一方、専用電源につきましては、個別の顧客要求にきめ細やかに対応し、積極的な技術提案を行なっておりまました。

しかしながら、国内外を問わず生産設備に対する投資は依然として低水準で推移し、電源機器の受注高は577百万円、売上高は517百万円となり、いずれも厳しい結果となりました。

今後は、バージョンアップ後一年を経過し、更なるラインナップの拡充を図ったパワーマスターの市場への浸透を図っておりまます。また、顧客が市場から求められる商品の生産ニーズに的確に応えられる技術・製品の提供を通じて、受注・売上の拡大に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置におきましては、海外子会社による中国及び東南アジア向け新規設備需要、国内の既存設備更新需要に対する営業強化等により、受注・売上の拡大を図りました。その結果、受注高は1,063百万円、売上高は709百万円となりました。

今後も国内外において、顧客の新しい生産方式に対応する装置の提案ならびに更新需要に積極的に取り組み受注・売上確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機におきましては、国内輸送機業界の好調さを背景に各社がグローバル生産体制の再構築を進める動きが見られ、海外販売ルートとの連携をとりつつ新規設備需要・既存設備の更新需要に対して積極的に取り組み、その結果、受注高は428百万円と伸長し、売上高は358百万円と堅調に推移いたしました。

今後も、一層のグローバル化の進む市場に対し国内外を問わず積極的に取り組み、ユーザーのニーズにきめ細やかに対応する製品開発を行なっておりまます。併せて、新規市場開拓を行ない受注・売上確保に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器におきましては、地球環境保全についての国際的な取り組みが進展する中、受注高は212百万円、売上高は154百万円となりました。

今後も、市場をグローバルに捉え環境負荷低減に役立つ機器の生産・販売に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少し3,491百万円となりました。これは、仕掛品が258百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が341百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ8.6%増加し874百万円となりました。これは、投資その他の資産が51百万円、有形・無形固定資産合計が17百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ0.2%増加し4,366百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し2,059百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が125百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し795百万円となりました。これは、退職給付引当金が2百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し2,854百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し1,511百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したものの、利益剰余金が94百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて187百万円減少し986百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

なお、前第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果185百万円の支出となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額128百万円、仕入債務の増加額124百万円であり、支出の主な内訳はたな卸資産の増加額269百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は5百万円となりました。

支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は0百万円となりました。

支出の内訳は配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日(平成25年3月期決算発表時)に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、平成25年11月1日に公表しております「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

また、当期の期末配当につきましては、平成25年5月14日の公表時には未定としておりましたが、現下の業績状況や通期の業績予想等に鑑み、遺憾ながら見送ることいたしました。詳細につきましては、平成25年11月1日に公表しております「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,601	1,136,979
受取手形及び売掛金	1,513,563	1,171,709
電子記録債権	5,378	218,377
商品及び製品	72,025	85,643
仕掛品	467,648	726,103
原材料及び貯蔵品	102,419	101,101
その他	66,665	56,905
貸倒引当金	△1,200	△5,600
流動資産合計	3,551,102	3,491,221
固定資産		
有形固定資産	304,165	319,760
無形固定資産	12,440	14,395
投資その他の資産	489,284	540,789
固定資産合計	805,890	874,945
資産合計	4,356,992	4,366,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	820,225	946,184
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	3,966	1,384
その他	338,951	271,905
流動負債合計	2,003,143	2,059,474
固定負債		
退職給付引当金	531,647	534,644
役員退職慰労引当金	222,200	214,600
その他	27,952	45,856
固定負債合計	781,800	795,100
負債合計	2,784,943	2,854,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	738,575	644,393
自己株式	△11,612	△11,612
株主資本合計	1,455,549	1,361,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,790	143,963
為替換算調整勘定	2,709	6,261
その他の包括利益累計額合計	116,500	150,225
純資産合計	1,572,049	1,511,591
負債純資産合計	4,356,992	4,366,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,827,361
売上原価	1,471,742
売上総利益	355,618
販売費及び一般管理費	454,590
営業損失(△)	△98,971
営業外収益	
受取利息	45
受取配当金	2,963
持分法による投資利益	3,506
為替差益	2,014
その他	2,003
営業外収益合計	10,532
営業外費用	
支払利息	4,124
その他	449
営業外費用合計	4,573
経常損失(△)	△93,013
特別損失	
固定資産処分損	92
特別損失合計	92
税金等調整前四半期純損失(△)	△93,105
法人税、住民税及び事業税	1,077
法人税等合計	1,077
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,182
四半期純損失(△)	△94,182

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,182
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	30,173
為替換算調整勘定	3,552
その他の包括利益合計	33,725
四半期包括利益	△60,457
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,457
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年4月1日
至平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△93,105
減価償却費	22,009
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,053
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,996
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,600
受取利息及び受取配当金	△3,008
支払利息	4,124
持分法による投資損益(△は益)	△3,506
固定資産処分損益(△は益)	92
売上債権の増減額(△は増加)	128,855
たな卸資産の増減額(△は増加)	△269,308
仕入債務の増減額(△は減少)	124,939
その他	△108,434
小計	△181,892
利息及び配当金の受取額	3,008
利息の支払額	△4,126
法人税等の支払額	△2,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,396
投資有価証券の取得による支出	△265
長期貸付金の回収による収入	228
その他	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,008
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△187,621
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	986,979

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	561,101	—
表面処理装置	926,960	—
電気溶接機	357,475	—
環境機器	186,189	—
その他	127,193	—
合計	2,158,920	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	577,117	—	350,239	—
表面処理装置	1,063,627	—	1,027,797	—
電気溶接機	428,752	—	200,644	—
環境機器	212,110	—	114,180	—
その他	225,218	—	161,924	—
合計	2,506,825	—	1,854,785	—

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	517,484	—
表面処理装置	709,586	—
電気溶接機	358,004	—
環境機器	154,103	—
その他	88,181	—
合計	1,827,361	—

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。